

財務諸表論 I

科目ナンバリング ACC-203
選択 2単位

水守 理智

1. 授業の概要(ねらい)

財務諸表を初めて学ぶ人のための入門コースです。但し、財務諸表作成の元となる複式簿記の知識があるという前提で授業を進めます。そのため、簿記論を履修済であるか日商簿記検定3級を合格する程度のスキルを持っている人の受講を推奨します。

財務諸表＝決算書から企業の経営状態を読み解くための基礎知識を習得します。また、その知識を基に事例と関連づけて財務諸表を身近なものとして利用できるようになることを目指します。

財務諸表論 I では、財務諸表の基本構造と作成原則を学び、貸借対照表の資産の部について、資産の内容と損益との関係を学びます。

2. 授業の到達目標

- ①財務諸表の基本的な構造と会計原則を理解します。
- ②貸借対照表の資産の部について、資産の内容と損益との関係を理解します。

3. 成績評価の方法および基準

ほぼ、授業態度20%、定期試験の成績80%です。
単位の取得には原則3分の2以上の出席が必要です。

4. 教科書・参考文献

教科書

田中健二 『財務会計入門』第5版 (中央経済社)

参考文献

合格テキスト日商簿記2級商業簿記 TAC出版

5. 準備学修の内容

授業の理解度を試す簡単な問題を配布しますので、各自で解答を作成し自分の理解度を確認し復習してください。

わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

やむを得ず欠席した場合のレジメ等はLMSにアップしますので、自主学習に使ってください。

6. その他履修上の注意事項

簿記の仕訳から決算書作成に至るまでの一連の手続きを理解していることを前提に、何をどの時点でどういう金額で記帳されるべきかを考えるのが財務諸表論です。従って、理解のためには少なくとも商業簿記を理解しているか簿記論を同時並行で受講していることが必要となります。

レジメの掲載、課題の配布や提出にLMSを使用することがありますので、LMSが使用できる環境が必要です。

7. 授業内容

- 【第1回】 財務諸表の種類(財務諸表を見てみよう)
- 【第2回】 財務諸表の役割
- 【第3回】 会計制度
- 【第4回】 会計公準
- 【第5回】 会計基準、企業会計原則一般原則、会計行為とは
- 【第6回】 企業会計原則、貸借対照表原則、損益計算書原則ほか
- 【第7回】 収益認識基準、実現主義
- 【第8回】 棚卸資産(棚卸資産の評価)
- 【第9回】 棚卸資産の会計(種類、分類、取得価額)
- 【第10回】 棚卸資産の会計(棚卸資産の評価)
- 【第11回】 有形固定資産(取得価額、減価償却)
- 【第12回】 有形固定資産(減価償却方法)
- 【第13回】 有形固定資産(リース資産、減損)
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 総まとめ、期末試験